

菅田中

横浜型小中一貫教育

池上小

菅田中学校ブロック

菅田小

(ブロック校) 菅田中・池上小・菅田小・羽沢小

羽沢小

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒の生活や生活していく上での環境上の課題の解決を目指します。菅田中ブロックの小中一貫教育について、紹介します。

平成27年度「菅田中学校ブロック小中一貫教育」全体構想

児童・生徒の自己肯定感を高める指導の在り方

指導と評価の一体化をはかり、わかる・できる楽しさが味わえる授業

情報交換を充実させ、寄り添う児童生徒理解のあり方を探る

授業力向上部会

指導と評価の一体化をはかり、わかる・できる楽しさが味わえる授業

4校で合同授業研究会（9教科＋個別支援学級の部会）を行い、授業力向上を目指しています。児童生徒の学力向上のために必要な視点を明確にして、授業改善に取り組みます。

今年度は、10月・11月に合同授業研究会を行います。

研究の視点

- ・小中の系統性を考えた、育てたい力の明確化・焦点化
- ・育てたい力をつけるための指導方法と、次時につなげる評価の在り方

児童生徒理解部会

情報交換を充実させ、よりそう児童生徒理解の在り方を探る

4校の児童生徒が安心安全な学校生活が送れるような情報を共有し合います。それをもとに、寄り添う児童生徒理解の方法を探ります。このことを通じて、一人ひとりに温かく寄り添う指導の充実につなげます。

主な取組

- ・ブロックスタンダードによる指導。
- ・「いのちの教育」の授業実践。
- ・子どもをとりまく環境の情報共有化。
- ・児童生徒理解職員研修「情報教育」
- ・就学時健診の連携